

町政を問う

学校統合準備協議会の 予算計上は認められない



影山 辰雄

統合実施計画案は？

教育長

再度の検討を行なう

影山 二十三年度予算案に、統合準備の事業として七六六千円が計上されている。時期尚早だ。

教育長 成案となつてから執行させていただきたい。

影山 案の段階での予算計上は認められない。これまで三月議会に計り成案を得るといつてこられた。いつ議会で計られるのか時期を示されたい。

教育長 今、ここでは時期は示せない。明日、全員協議会で説明をしたい。

影山 中学校統合では位置に反対する意見が多く出されている。また、議会の申し入れは統合するにしても、平成三十二年頃を目途としている。この意見と申し入れはどう取り扱われるのか。

教育長 パブリックコメントでも、統合校舎の位置に反対する意見が多く出された。議論がまだ不十分との判断から検討協議会で再度の検討を行いたい。

耐震化の促進を

影山 地区説明会で財政の状況も説明されているが具体的に問う。平成十八年度に二部小学校が改築された。事業費一億四千九百万円の内、五千五百万円が町の負担である。仮に統合計画(案)のとおり二十五年に統合されれば六年間しか学校として使用されず、この五千五百万円は大きなムダ金となる。

教育長 木造校舎が耐震化の判断基準が低いため

改築した。当時学校統合計画がなかったため、このような結果になった。指摘されればムダと認めざるを得ない。

影山 私は議員となった当初から耐震判断だけは実施されておかないと大変なことになると指摘してきた。その結果が指摘したとおりとなった。政策順位のミスである。

教育長 平成十七年に耐震判断がなされていればこのような結果にならなかった。どの事業を優先課題とすべきか、今後充分に検討したい。

影山 今上程中の二十三年度予算案は溝口小学校を平成二十三、二十四の二ヶ年で全面改築される内容である。その内、体育館は耐震化の判断基準とされる「S値」が〇.七を上回る〇.七六であり安全な施設である。まだまだ多くの施設が〇.七を下回る状況であり、耐震化を最優先にされるべきであり、体育館分の予算は他の施設に振り変えられるよう求めたい。

教育長 溝口小学校を一体的に改築する計画であり、了解が得られれば現

計画を進めさせていただきたい。

影山 まわりの町村よりも大幅に耐震化が進んでいない。まず、伯耆町の教育政策は、学校統合より耐震化の促進を第一の課題とすべきである。政策の転換を求めてお



全面改修予定の溝口小学校